

「野田ともうします」のマンガで前提と含意を分析

アニスセティアニングルム



日本文学科

文学科学部

マラナタキリスト教大学

バンドン

2014

## 1. 序論

語用論は文の意味と発話の意味を研究する。語用論が扱う重要な問題の二つに前提 (*Presupposition*) と含意 (*Implicature*) がある。

前提は発話の適切性の基準となるコンテキストを指す。Yule によって前提は六種に分けられる。存在を示す (*Existential Presupposition*)、事実を示す (*Factive Presupposition*)、語彙文を示す (*Lexical Presupposition*)、特定の文の構造を示す (*Structural Presupposition*)、真実ではないことを示す (*Non-factive Presupposition*)、事実反対を示す (*Counterfactual Presupposition*)。

一般に会話というのは、当事者がコミュニケーションを円滑で有意味に行なおうとする協力的な態度があって始めて成立するものである。その協力の内容としてはいろいろなことが考えられる。それを含意と呼ぶ。語用論研究に大きく寄与したのが、哲学者グライス (Grice) による意味とコミュニケーションについての理論である。グライスは会話を円滑に運ぶための基本的なルールとして公理 (*Maxim*) を提案した。会話の公理は以下の四つの公理が含まれている。

この論文で、質的研究法と説明的な分析手法を使用した。

## 2. 本論

### 2.1 話し手と聞き手を同じ仮定がある

野田：この辺でいい歯医者さんどこでしょうか？

おばあさん：ああ、それなら川村歯科ね。(NTMS4:2012:34)

この文から、野田さんがおばあさんに聞いたことを前提される。その文からも別の前提がある。野田さんのアパートの近くにいい歯医者がいることを前提される。それは存在に関する前提を説明する。

野田さんは歯に関する問題があるのでおばあさんにいい歯医者聞いたことを含意される。野田さんとおばあさんがいい歯医者について同じ仮定がある。ですから、おばあさんが野田さんに川村歯科をお勧め。おばあさんの言ったことは質に関する含意を適切である。

### 2.2 話し手と聞き手を別の仮定がない

部長：あそこにいい席なんじゃないのー？野田さんが相撲好っ てすげーぴったりくる...

野田：いえ 私国技館に行ったことはありませんが？

部長：え

野田：それに申し訳ないことに相撲にも今まで興味をもったことがなくて

部長：なんだ違うのー？絶対野田さんだと思ったー(NTMS1:2008:79)

という文で野田さんは相撲が好きじゃないことを前提される。野田さんのいったから野田さんは国技館にいったことがないと相撲に関心がないことを説明する。

部長は相撲の試合に間違い人を含意される。野田さんは国技館に言ったので部長の見た人は野田さんじゃないことを説明する。野田さんは部長と別の仮定がある。部長は正しいことを言ったので質に関する含意を相反する。

### 3. 結論

話し手と聞き手が同じ仮定があれば前提と含意は関係を説明される。「野田ともうします」の漫画で前提は話し手の仮定から確かめる。話し手と聞き手がされていない場合は話し手と聞き手が誤解する。話し手と聞き手がされていない場合は前提が宣誓の文を説明される。話し手と聞き手がされていない場合は話し手と聞き手が誤解する。話し手は公理を相反する。

## DAFTAR ISI

|                                                  |            |
|--------------------------------------------------|------------|
| <b>HALAMAN JUDUL .....</b>                       | <b>i</b>   |
| <b>HALAMAN PENGESAHAN .....</b>                  | <b>ii</b>  |
| <b>HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS .....</b>     | <b>iii</b> |
| <b>PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI.....</b>         | <b>iv</b>  |
| <b>KATA PENGANTAR.....</b>                       | <b>v</b>   |
| <b>DAFTAR ISI.....</b>                           | <b>vii</b> |
| <b>BAB I PENDAHULUAN.....</b>                    | <b>1</b>   |
| 1.1 Latar Belakang Masalah.....                  | 1          |
| 1.2 Rumusan Masalah .....                        | 7          |
| 1.3 Tujuan Penelitian .....                      | 7          |
| 1.4 Metode Penelitian dan Teknik penelitian..... | 8          |
| 1.5 Organisasi Penulisan Skripsi.....            | 9          |
| <b>BAB II KAJIAN TEORI .....</b>                 | <b>10</b>  |
| 2.1 Semantik.....                                | 10         |

(Lanjutan)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 2.2 Pragmatik .....     | 12 |
| 2.2.1 Presuposisi ..... | 16 |
| 2.2.2 Implikatur .....  | 20 |

### **BAB III ANALISIS PRESUPOSISI DAN IMPLIKATUR DALAM KOMIK**

|                                                            |           |
|------------------------------------------------------------|-----------|
| <b><i>NODA TO MOUSHIMASU</i></b> .....                     | <b>24</b> |
| 3.1 Penutur dan Petutur memiliki asumsi yang sama .....    | 24        |
| 3.2 Penutur dan Petutur memiliki asumsi yang berbeda ..... | 43        |
| 3.3 Rangkuman Analisis .....                               | 53        |

### **BAB IV SIMPULAN.....54**

### **DAFTAR PUSTAKA.....56**

### **LAMPIRAN I..... ix**

### **LAMPIRAN II..... xvi**

### **SINOPSIS ..... xxi**

### **RIWAYAT HIDUP PENULIS.....xxv**